

# - 2012年4月1日から2015年3月31日まで岡山大学病院 精神科 (西1階) 病棟において入院されていた患者様へ -

「精神科病棟長期入院患者における薬剤師介入の有用性の検討」へご協力をお願い

研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
岡山大学病院

研究機関の長 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科  
研究科長 那須 保友  
岡山大学病院  
病院長 金澤 右

研究責任者 岡山大学病院 薬剤部  
教授・薬剤部長 千堂 年昭

## 1. 研究の概要 (研究の背景、目的及び意義)

うつ病や統合失調症などの精神疾患に対する薬物療法は一般的に長期間を必要とすることが知られています。精神科病棟の薬剤師は薬物療法の質を向上させることを目的として患者様との面談やカルテからの情報収集を通じて医師等の他の医療従事者に必要な情報の提供や薬物療法の提案を行います。しかし、長期的に薬剤師が関わることの有益性についてこれまで明らかにされていません。そこで今回、長期入院患者様への薬剤師関与の有益性を明らかにすることを目的とした調査を行います。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

2012年4月1日から2015年3月31日まで岡山大学病院 精神科 (西1階) 病棟において入院されていた患者様137人を対象とします。

### 2) 研究期間

2017年8月1日 ~ 2020年3月31日

### 3) 研究方法

患者様の電子カルテを過去にさかのぼって調査し、2012年4月~2015年3月の期間に薬剤師が電子カルテに記載した内容を調査します。調査対象患者様のカルテから、薬剤師のカルテ記載内容の他に入院期間中の治療薬の変化、提案の有無および内容、提案ありの場合は提案内容に応じた処方や検査などのオーダー入力の有無およびオーダー日時を調査します。また、薬剤と関連した副作用について、カルテ記載内容および検査値を用いて評価します。

### 4) 使用する情報

研究に使用する情報として、以下の情報を抽出し使用させていただきます。情報の管理はコード番号等で行い、氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報は削除し、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。ただし、必要な場合に個人を識別できるように、原則としてあなたの氏名などの情報とコード番号の対応表を残しています。

- 1) 患者基本情報 (年齢、性別、入院時精神疾患名)
- 2) 薬剤師によるカルテ記載内容
- 3) 内服および注射薬処方の内容
- 4) 検査オーダーの内容
- 5) 血液検査値

## 5) 情報の保存及び廃棄の方法、二次利用

本研究に使用した情報は研究終了後5年間、岡山大学病院薬剤部 試験研究室内の専用の保管庫内で厳重に保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。保存期間終了後は電子情報はコンピューターから削除しその他の情報はシュレッダーで裁断し廃棄します。

## 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画および研究の方法に関する資料を入手または閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、この研究におけるあなたの個人情報等の開示はあなたが希望される場合に行います。この研究の結果は氏名、生年月日などあなたを直ちに特定できる情報を分からない形にして学会、論文で発表しますのでご了承下さい。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、2017年8月31日までに下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

### <問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 薬剤部  
電話：086-235-7650（平日：10:00～16:00）  
FAX：086-235-7650

薬剤主任

江角 悟